

日本大学新聞学研究所シンポジウム

日本のジャーナリストの過去・現在・未来

～ジャーナリスト調査が問いかけたこと、新たに問うこと～

ジャーナリズムの再定義が問われている。ジャーナリズム実践に対して調査研究は何を問うべきなのか。今回のシンポジウムでは、これまで新聞学研究所で実施した2007年、2013年の調査を含めた調査研究とジャーナリズム研究とを交叉させ、2022年秋に計画している調査へ向けた論点とテーマについて議論する。そして、調査の起点となるべき意見交換を行う。

2022年1月22日（土）14:00～16:30

開催方法：オンライン（Zoom）

事前申込：<https://forms.gle/BCsC1oLPYgZqTKjV8>

※お申し込み後にURLを送付します。

申込〆切：1月21日（金）15:00

参加費：無料



第1部

プロジェクトの概要・目的・挨拶

佐幸信介（日本大学法学部）

問題提起1：調査のクリティカルレビュー

山口 仁（日本大学法学部）

問題提起2：調査とジャーナリズム研究

大井眞二（日本大学法学部）

（10分休憩）

第2部

パネルディスカッション

水野泰志（メディア激動研究所代表・元東京新聞編集委員）

笹田佳宏（日本大学法学部）

中 正樹（日本大学法学部）

司 会

佐幸信介（日本大学法学部）

問い合わせ先：日本大学法学部研究事務課 TEL：03-5275-8510／kenjimu.law@nihon-u.ac.jp